

学校読書活動の取組【舞鶴市立志楽小学校】

1 実践テーマ

「自ら本に手をのばす子どもを育てる図書館教育の推進
～学校、家庭、地域・社会の連携をとおして～」



2 学校の概況

本校は舞鶴市の東端に位置し、東には青葉山がそびえて福井県と接し、南北には四季折々の変化を見せる里山が連なっています。

校区には、三重の塔を擁する鹿原の金剛院や西国 29 番札所の松尾寺があり、重要文化財や史跡も多くあります。一方、学校の北を流れる志楽川には、アユやナマズなどが生息しています。豊かな自然と文化に恵まれた校区で、児童はのびのびと活動しています。

また、地域の多くの方から、学校教育に深い理解をいただいております。コミュニティー・スクール推進委員会を中心に、登下校時の付き添いや見守り、学校農園の管理、図書の読み聞かせなど、きめ細やかな支援を受けています。

平成 28 年度の在籍児童数は、390 名、特別支援学級 2 学級を含む 15 学級の規模の学校です。

3 実践内容

～学校、家庭、地域・社会の連携をとおして～

(1) 学校の日々の取組

ア 朝読書

- 水曜日の朝 8 時 30 分から 40 分まで、全校一斉朝読書
朝読書を通して、読むきっかけと時間を与え、読書の習慣化に取り組んでいます。

イ 読書貯金通帳と読書冊数の記録

- 読書貯金通帳に読んだ本を記録
毎月、学級で読書冊数を集計し、図書室前に全校読書冊数を掲示しています。



ウ 図書室の開放

- 毎日、業間休みと昼休み（月曜日のみ
朝休みも解放）
開放するにあたり、本を分類別・ジャンル別に整理し、読みたい本が探しやすい
図書室環境を整備しました。



新しい本 コーナー



エ 廊下図書館

- 現在は、図書委員会が、各階の廊下に、その階の学年へのおすすめの本を季節や時期に合わせて選定し、廊下図書館として身近に本を手にとることができる環境をつくっています。



小説を集めました。



アニマルシリーズを集めました。



図書室前のコーナー
いろいろなシリーズがあります。

オ 図書委員による読書活動

- 日々の当番活動に加え、おすすめの本の紹介や読み聞かせ、廊下図書館の企画などの活動も行っています。



(2) 図書ボランティアとの取組

ア 月曜早朝の図書室の開放

- 図書ボランティアによる月曜日の朝休みの開館・貸出業務
朝の開放時間が終了後、整頓もお世話になり、図書室が整備された状態で1週間がスタートします。



イ 新刊図書の配架、図書の修理・整頓、季節ごとの飾り付けや配架の工夫等、図書室整備活動

- 新刊図書のカバーかけや分類ごとのシール貼り、修理、図書室の飾り付けなど、美しく楽しく、親しみやすい図書室環境となっています。



図書ボランティア様 作
可愛いサンタ



ウ 朝読書の読み聞かせ

- 月1回、定期的に読み聞かせをしていただき、朝読書と違った紙芝居や大型絵本の読み聞かせもあり、児童にとってよい刺激となる楽しみな時間です。



(3) 外部との取組

ア 東図書館

- 年に1回、授業の1時間を使ってブックトークをしていただいています。
- 巡回図書。低・中・高学年別に、40冊の本の貸し出しをしていただいています。貸し出していただいた本は、学級文庫として身近なところに置いて巡回しています。



イ お話舞ポケットさん

学期に1回、授業の1時間を使って、いろいろな本の読み聞かせをしていただいています。



(4) 家庭との取組

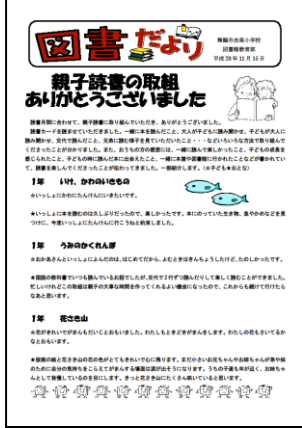
ア 親子読書

読書月間に合わせて、親子読書に取り組んでいただきました。読書

カードには、一緒に本を読んだこと、大人が子どもに読み聞かせたり、子どもが大人に読み聞かせたり、交代で読んだり、兄弟に読む様子を見ていただいたり・・・と、いろいろな方法を工夫し、取り組んでくださっています。

イ 図書だよりの発行

子ども読書の日の取組紹介、親子読書の取組の様子紹介、おすすめの本の紹介、読書月間の取組の様子などをお伝えし、家庭における読書活動を啓発しています。



(5) イベント的な取組

ア 子ども読書の日の取組

一週間前から図書室利用指導を行い、読書の時間を確保して読書活動をするとともに、担任・担任外の教師による読み聞かせをしました。

イ 読書月間の取組

(ア) 『読書の木』

- ・ 学級で目標冊数を決め、読書記録を葉っぱの紙に書き、教室の見えるところに掲示しました。

(イ) 児童集会の発表

- ・ 図書室のきまりと約束、新刊図書の紹介を行いました。

ウ 児童と図書室をつなぐ取組 「はらぺこあおむしを さがせ」

児童会が取組を企画。エリック・カールさんの「はらぺこあおむし」に読書クイズをつけて全校に隠し、児童はそれを探しながら、読書クイズに答えるという取組です。自分の読書経験が問われ、答えを求めて、図書室へ該当の本を探しに足を運ぶ児童もいました。



エ 読書フェア

新刊書の選定にあたり、児童が投票する取組も行いました。



オ 長期休業中の図書室の開館

夏休みは4日間、冬休みは3日間、図書室を開放しています。一日当たり平均 15名~20名の利用がありました。

(6) 教科と関連した利用指導

「本を読むこと、調べること、表現することを通した言語力の向上」を図るため、図書活用できそうな教科・単元の一覧表、国語科で図書に関する内容を学習する単元一覧表を作成しました。

意識的に図書を活用するようになり、特に、国語科、理科、社会科、生活科の教科や総合的な学習の時間との関連を図った取組を進めました。



5年 理科「花から実へ」

月/学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	こすもす
4月	どんなおはなしかかな ・読み聞かせを聞く。 子ども読書の日 図書室の使い方	子ども読書の日 図書室の使い方	国語辞典の使い方 ・国語辞典の使い方 を理解し、必要に応じて活用することができる。 ★国語辞典 子ども読書の日 図書室の使い方	漢字辞典の使い方 ・漢字辞典の使い方 を知り、漢字の部首 や成り立ちや画数に ついての知識をもつ ことができる。 ★漢字辞典 子ども読書の日 図書室の使い方	新聞を読む ・複数の新聞記事を読 み比べることの意 味や効果を知った り、見出しやリード 文から要旨を捉え たりすることができる。 ★新聞 見出し・リード 文・本文などの用語 子ども読書の日 図書室の使い方	子ども読書の日 図書室の使い方	
5月				新聞を作ろう ・新聞の特徴と作り 方を知り、記事に することを決めて、伝 えたいことが明確に なるように文章を書 くことができる。			

5年 雲と天気の変化



雲の名前の手帖 あしたのてんきははれ?くもり?あめ? 小学理科学習事典

国語科で図書に関する内容を学習する単元 一覧表より

- ぼくらの天文・気象・地球 天気図をよむ
- 気候の変化をしらべる
- 天気をしらべる
- 雲・雨・雪のかんさつ
- 空とおはなしてみよう
- 1 空ってほんとにどんないの?
- 2 雲のなかまたち
- 3 台風がやってくる
- 4 あした天気になあれ

4 成果と課題

(1) 成果

- 児童の実態に応じて、朝読書で読み聞かせなどの時間を設け、本の楽しさを味わわせること、新しい本の購入や図書の整理整頓などの環境の整備によって、児童の読書意欲を高めることができました。
- 子ども読書の日の取組は、読み聞かせをとおして、担任外との先生とのつながりが生まれました。
- 京都府子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）に掲げられた学校等の努力目標、「1 読書量の増加（平日の1日の読書量が10分以上の児童の割合及び、学校図書館や地域の図書館に月1回以上行く児童の割合が全国平均を上回ること）」や、「2 学校独自の読書活動推進計画の策定」、「5 学校図書館の毎日の開館」、「6 教職員やボランティアなどによる読み聞かせ・・・」は、達成しています。

(2) 課題

- 家庭での読書量が少ないので、家庭との連携方法を検討し、取組を行っていく必要があります。
- 自主的な読書活動を誘発する取組や、児童を図書室に誘う意図的な取組を今後も実践していくことや、企画コーナー・新聞を読みたくなるコーナーの設置など、今後も魅力ある学校図書館づくりを整備していきたいです。
- 学校図書館利用指導を計画的に行うこと、館内案内図や検索、レファレンスの仕組みを作ること、児童と学校図書館をつなぐ「図書館だより」の計画的な発行など、運用システムが活用できるように整備していく計画です。
- 推進計画の「3 校内研修の実施」、「4 読書活動を通じた言葉の力を育成する取組の推進」について今後も充実を図っていきたいです。



本とつなぎ、気づきをうながす コーナー より